

特 集

農業構造改善事業の構想

表1 産業別所得構成比の推移

区 分	第1次産業	内 農 業	第2次産業	第3次産業	国民所得
昭和9~11年平均	19.8	16.7	30.8	49.4	100
26年	25.0	19.9	32.4	42.6	100
27年	23.9	18.8	31.7	44.4	100
28年	22.0	16.3	31.9	46.1	100
29年	21.6	16.4	31.2	47.2	100
30年	22.5	17.7	30.2	47.3	100
31年	18.9	14.1	32.9	48.2	100
32年	18.3	13.4	33.5	48.2	100

一人当たり収入
僅か年間八万円
○経費の急速な増大と農
業
わが国の経済で、戦後
急速に増大成長してきて
ますが、その中で農業と
他産業の成長の均衡がと
れて、ますます農業がと
れず、ますます農家が
れず、ますます農家が
れず、ますます農家が

他産業との差を縮める

経営生産手段全般に改善
近代農業への布石

近年、農業は他産業の発展に劣るという格差が生じており、その生活においても、所得の面において、ますます開きが大きくなつて傾向が表れておられます。このため、農業は「曲り角にまわらなければならない」とか「農業の基盤を固めなければならない」とか農家の方々多くの関係者の間で論議されてきましたが、国においては



発行所 新津市役所
発行人 新津市役所総務課
電話 代 484 550 番
印刷所 東洋館印刷所
毎月一回発行

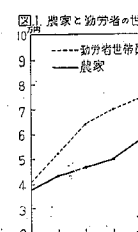
人口動態

(昭和36年12月末現在)
人口 57,039
世帯数 10,928

(11月中)
出生 67 死亡 36
婚姻 82 離婚 4
転入 123 転出 138

区 分	昭和26年	27年	28年	29年	30年	31年	32年
①農家世帯員一人当たり	三九七・二二	四四一・〇九	四七五・一三	五〇七・七八	五五七・五七	五九七・八三	六四三・二六
②勤労世帯員一人当たり	四二二・三九	四九〇・五二	五三三・八三	六五五・一八	七〇七・七四	七四四・三六	八二二・二八
③勤労世帯員一人当りの割合	九三・七	一一一・二	一一三・七	一一三・九	一一三・七	一一三・七	一一三・七

表2 農家所得と勤労世帯員収入の年次別比較(単位円)



農家は勤労者の世帯員一人当りの収入は、昭和26年には勤労者の世帯員一人当りの収入の約94%に過ぎなかったが、昭和33年には勤労者の世帯員一人当りの収入の約114%に達した。これは、農業の生産性が向上したことを示している。

更に拡大してゆく傾向をもっており、農家は勤労者の世帯員一人当りの収入の約114%に達した。これは、農業の生産性が向上したことを示している。

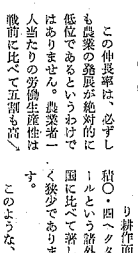
伸び率は三・五%にとまる
伸び率は三・五%にとまる
伸び率は三・五%にとまる
伸び率は三・五%にとまる

伸び率は三・五%にとまる
伸び率は三・五%にとまる
伸び率は三・五%にとまる
伸び率は三・五%にとまる

伸び率は三・五%にとまる
伸び率は三・五%にとまる
伸び率は三・五%にとまる
伸び率は三・五%にとまる

区 分	昭和26年	27年	28年	29年	30年	31年	32年
①農家世帯員一人当たり	三九七・二二	四四一・〇九	四七五・一三	五〇七・七八	五五七・五七	五九七・八三	六四三・二六
②勤労世帯員一人当たり	四二二・三九	四九〇・五二	五三三・八三	六五五・一八	七〇七・七四	七四四・三六	八二二・二八
③勤労世帯員一人当りの割合	九三・七	一一一・二	一一三・七	一一三・九	一一三・七	一一三・七	一一三・七

表3 戦後(昭和26-33)農業成長率



戦後(昭和26-33)農業成長率は、平均年率3.5%に達した。これは、農業の生産性が向上したことを示している。

戦後(昭和26-33)農業成長率は、平均年率3.5%に達した。これは、農業の生産性が向上したことを示している。

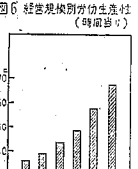
戦後(昭和26-33)農業成長率は、平均年率3.5%に達した。これは、農業の生産性が向上したことを示している。

戦後(昭和26-33)農業成長率は、平均年率3.5%に達した。これは、農業の生産性が向上したことを示している。

戦後(昭和26-33)農業成長率は、平均年率3.5%に達した。これは、農業の生産性が向上したことを示している。

区 分	昭和26年	27年	28年	29年	30年	31年	32年
①農家世帯員一人当たり	三九七・二二	四四一・〇九	四七五・一三	五〇七・七八	五五七・五七	五九七・八三	六四三・二六
②勤労世帯員一人当たり	四二二・三九	四九〇・五二	五三三・八三	六五五・一八	七〇七・七四	七四四・三六	八二二・二八
③勤労世帯員一人当りの割合	九三・七	一一一・二	一一三・七	一一三・九	一一三・七	一一三・七	一一三・七

表4 経営規模別労働生産性(時給当り)



経営規模別労働生産性は、昭和26年から昭和33年にかけて、全体的に向上した。これは、農業の生産性が向上したことを示している。

経営規模別労働生産性は、昭和26年から昭和33年にかけて、全体的に向上した。これは、農業の生産性が向上したことを示している。

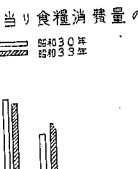
経営規模別労働生産性は、昭和26年から昭和33年にかけて、全体的に向上した。これは、農業の生産性が向上したことを示している。

経営規模別労働生産性は、昭和26年から昭和33年にかけて、全体的に向上した。これは、農業の生産性が向上したことを示している。

経営規模別労働生産性は、昭和26年から昭和33年にかけて、全体的に向上した。これは、農業の生産性が向上したことを示している。

区 分	昭和26年	27年	28年	29年	30年	31年	32年
①農家世帯員一人当たり	三九七・二二	四四一・〇九	四七五・一三	五〇七・七八	五五七・五七	五九七・八三	六四三・二六
②勤労世帯員一人当たり	四二二・三九	四九〇・五二	五三三・八三	六五五・一八	七〇七・七四	七四四・三六	八二二・二八
③勤労世帯員一人当りの割合	九三・七	一一一・二	一一三・七	一一三・九	一一三・七	一一三・七	一一三・七

表5 年間一人当り食糧消費量の推移



年間一人当り食糧消費量は、昭和26年から昭和33年にかけて、ほぼ安定した。これは、農業の生産性が向上したことを示している。

年間一人当り食糧消費量は、昭和26年から昭和33年にかけて、ほぼ安定した。これは、農業の生産性が向上したことを示している。

年間一人当り食糧消費量は、昭和26年から昭和33年にかけて、ほぼ安定した。これは、農業の生産性が向上したことを示している。

年間一人当り食糧消費量は、昭和26年から昭和33年にかけて、ほぼ安定した。これは、農業の生産性が向上したことを示している。

年間一人当り食糧消費量は、昭和26年から昭和33年にかけて、ほぼ安定した。これは、農業の生産性が向上したことを示している。

区 分	昭和26年	27年	28年	29年	30年	31年	32年
①農家世帯員一人当たり	三九七・二二	四四一・〇九	四七五・一三	五〇七・七八	五五七・五七	五九七・八三	六四三・二六
②勤労世帯員一人当たり	四二二・三九	四九〇・五二	五三三・八三	六五五・一八	七〇七・七四	七四四・三六	八二二・二八
③勤労世帯員一人当りの割合	九三・七	一一一・二	一一三・七	一一三・九	一一三・七	一一三・七	一一三・七

表6 農産物消費の変化



農産物消費量は、昭和26年から昭和33年にかけて、ほぼ安定した。これは、農業の生産性が向上したことを示している。

農産物消費量は、昭和26年から昭和33年にかけて、ほぼ安定した。これは、農業の生産性が向上したことを示している。

農産物消費量は、昭和26年から昭和33年にかけて、ほぼ安定した。これは、農業の生産性が向上したことを示している。

農産物消費量は、昭和26年から昭和33年にかけて、ほぼ安定した。これは、農業の生産性が向上したことを示している。

農産物消費量は、昭和26年から昭和33年にかけて、ほぼ安定した。これは、農業の生産性が向上したことを示している。